

BeFine!

証券コード 6869

第44期

期末株主通信

2010年4月1日～2011年3月31日



特別企画 社長インタビュー

シスメックスグループの 新・中期経営計画

特集 | グローバル最前線

急成長する中国

社長インタビュー シスメックスグループの 新・中期経営計画

シスメックスは2014年3月期を最終年度とする
新・中期経営計画を策定しました。

当期の業績を含め、
今後のシスメックスの成長戦略ついて、
社長の家次よりご説明します。

Q まず、2011年3月期の概況について
お聞かせください。

A 円高の影響を受けながらも
売上・利益ともに過去最高を達成しました。

業績の報告に先立ち、このたびの東日本大震災により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を衷心よりお祈りいたします。

当社グループの2011年3月期の業績は、円高の影響を受けながらも売上高11期連続、営業利益9期連続で過去最高を達成しました。売上高は前年同期比7.3%増、営業利益は同16.4%増、経常利益は同14.0%増、当期純利益は同16.9%増と大幅に伸長しました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比14.2%増、営業利益は同41.2%増となります。

■2011年3月期 通期業績(連結)		前年同期比
売上高	1,246 億円	7.3%増
営業利益	182.8 億円	16.4%増
当期純利益	114.1 億円	16.9%増

※2011年3月期為替レート：1USD=85.7円、1ユーロ=113.1円

海外は、販売・サービス体制の強化やソリューション提案を進めた結果、現地通貨ベースでは全ての所在地で二桁の増収を達成しました。特に中国での伸びは著しく、現地通貨ベースにおける売上高は前年同期比35.7%増と、高成長を継続しています。これにより、当社グループの海外売上高比率は69.1%となりました。

国内ではソリューション提案の推進により、大型案件を多数獲得し、2010年3月期のインフルエンザ流行による検査キットの売上分を補い、売上高は前年同期比4.7%増となりました。なお、当社の生産・研究開発拠点は主に

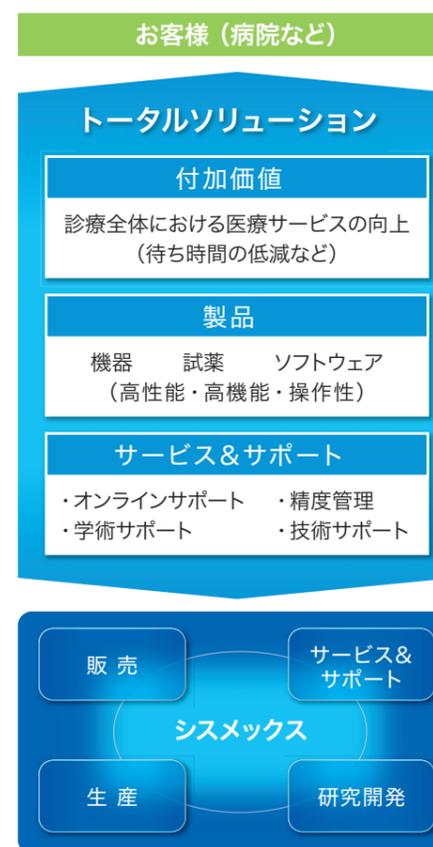
兵庫県に立地しており、地震による業績への影響はほとんどありませんでした。

配当につきましては、1株につき56円(中間期28円、期末28円)を予定しておりましたが、4円増配し、年間60円としました。これにより9期連続の増配となり、連結配当性向は27.0%となります。

また、株主の皆様にとってより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性を向上させるために、4月1日に株式分割を実施しました。今後も継続的な安定配当を目指してまいります。

円高の影響を受けながらも 売上高11期連続、営業利益9期連続で 過去最高を達成しました。

※2011年3月期



Q 前中期経営計画を上回る
結果となっていますが、その要因は何でしょう？

A シスメックス独自の強みが、お客様から
高く評価されていることにあると思います。

前回の中期経営計画の達成状況を振り返りますと、特に営業利益が大きく伸長し、大幅な円高にも関わらず、2012年3月期の目標数値(185億円)を1年前倒してほぼ達成したことになります。このように安定的な成長を実現してきた要因は、シスメックス独自の強みにあると考えています。

そのひとつが、研究からサービス&サポートまでの一貫体制です。当社では機器・試薬・ソフトウェアなどの技術者が一体となって研究開発を進めることで、性能や操作性に優れた製品を生み出しています。また、「メイド・イン・ジャパン」の品質にこだわり、機器は全て国内で生産しています。高品質な製品は市場から高く評価されており、「製品」そのものが当社の強みのベースとなっています。さらに、他社に先駆けて充実したサービス&サポート体制をグローバルに構築することで、常に正しい検査結果が得られるという「安心」を医療現場にお届けしています。この確かな「安心」が、世界中のお客様からの評価につながっていると言えるでしょう。

Hisashi Ietsugu

代表取締役社長

家次 恒

いえずく ひさし

【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社。1996年、代表取締役社長に就任。【趣味】読書、ゴルフ、スポーツ観戦【信条】「意あらば通ず」



「現状に満足することなく
さらなる成長に向けて
挑戦を続けます。」

Q 新・中期経営計画では、どのような施策に注力していくのですか？

A さらなる成長の加速と、次の成長に向けた基盤作りのため、新たな基本戦略を策定しました。

新・中期経営計画では、新しい3つの基本戦略のもと、当計画の3カ年において、売上高で平均12%、営業利益で平均13%超の伸長を計画しており、2014年3月期には、売上高1,750億円(2011年3月期比で4割増収)、営業利益265億円の達成を目指します。

重点課題の取り組みとして、アジアをはじめ、高成長が期待される新興国市場では、主力のヘマトロジー分野*だけで

なく、ノンヘマトロジー分野*においても、新興国のニーズに合った新製品を展開します。また、ヘマトロジー分野における新製品「XNシリーズ」を発売することで、絶対的なNo.1ポジションの確立と収益力の向上を目指します。一方で、グローバルにおけるノンヘマトロジー分野のさらなる成長に向けた基盤作りのため、診断薬の開発強化を図ります。さらに、ライフサイエンス領域における事業化を促進するため、自社技術を用いたラボアッセイ(受託検査)サービスなどを開始する計画です。

新・中期経営計画を確実に実行していくことで、当社グループはグローバル企業としてさらなる成長を目指してまいります。

新・中期経営計画 (2012年3月期~2014年3月期)

長期ビジョン A Unique & Global Healthcare Testing Company

新・基本戦略



5つのグループ重点課題

- 1 アジアをはじめとした新興国での成長の加速
- 2 ヘマトロジーにおける絶対的なNo.1ポジションの確立と収益力の向上
- 3 ノンヘマトロジー分野における成長の加速と次の成長に向けた基盤作り
- 4 ライフサイエンスにおける事業化の促進
- 5 M&Aやアライアンスの積極的な活用による事業ポートフォリオの強化と非連続な成長の実現

新・中期経営目標 (2014年3月期)



※中期経営計画期間中における想定為替レート：1USドル=85円、1ユーロ=115円

3 *ヘマトロジー分野:血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを測定することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*ノンヘマトロジー分野:血液凝固検査、免疫検査、尿検査、生化学検査などのヘマトロジー分野以外の検体検査分野。

詳細な財務情報は、シスメックスのIRウェブサイトをご覧ください。 www.sysmex.co.jp/ir/

売上高



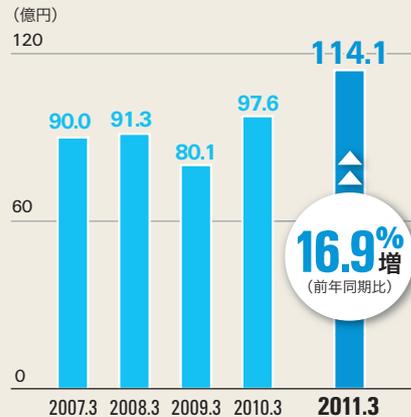
大幅な円高の影響を受けた欧州を除き、各所在地で増収となり、昨年度に比べて85.2億円増の1,246億円となりました。

営業利益



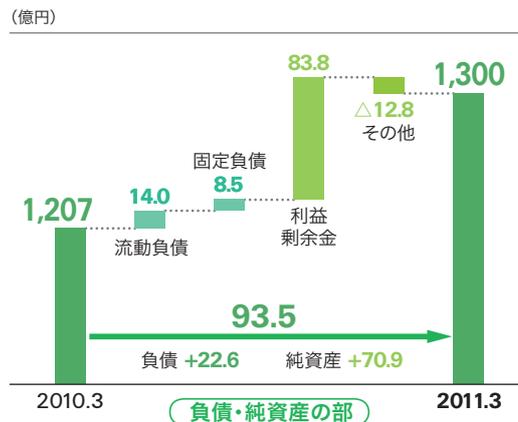
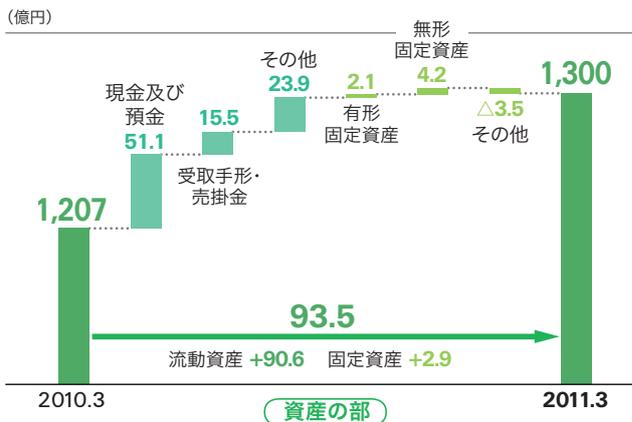
米州や日本などの増収効果により、昨年度に比べて25.8億円増の182.8億円となりました。

当期純利益

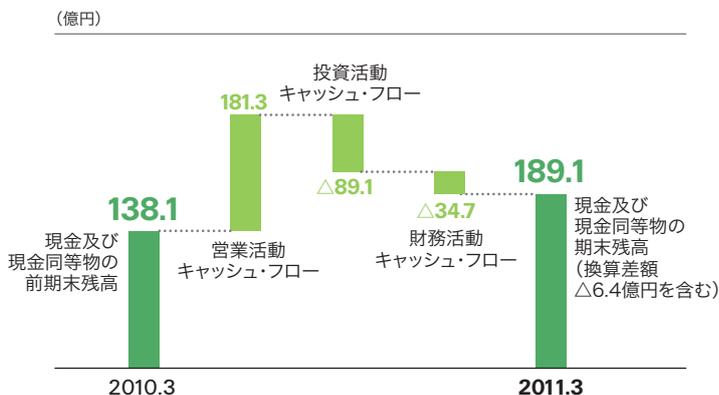


営業利益の増加により、昨年度に比べて16.4億円増の114.1億円となりました。

●貸借対照表の増減要因



●キャッシュ・フローの増減要因



●1株当たり配当金/配当性向



※本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と異なる可能性があります。

【所在地別セグメント】

内部売上高：関係会社への輸出など
外部売上高：日本のほかに、韓国・台湾・アイデックス社向けなどの売上を含む。

〈為替レート〉 (円)

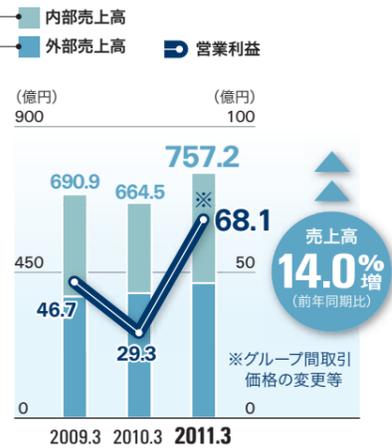
	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期
1USDドル	100.5	92.9	85.7
1ユーロ	143.5	131.2	113.1

日本

- ソリューション提案の推進により継続的に大型案件を多数獲得し、売上が増加しました。
- 増収効果に加え、日本国内での原価率改善、グループ間取引価格の変更などにより、営業利益が増加しました。



血液分析システム HST シリーズ

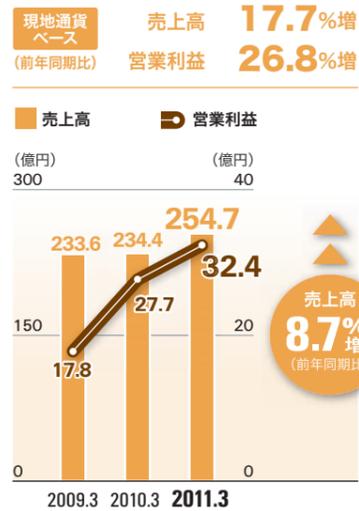


米州

- 北米ではヘマトロジー分野*において、統合医療ネットワーク*などへの販売が好調に推移しました。
- 中南米では、景気回復に伴い、需要が復調しました。
- シェア拡大に伴う増収効果により、営業利益が大幅に増加しました。



シスメックス ブラジル



欧州

- 主要5カ国**や新興エリアが牽引し、現地通貨ベースにおいて売上の二桁成長が継続しています。
- 大幅な円高の影響に加え、販売体制の整備に伴う販売費及び一般管理費の増加などにより、営業利益は減少しました。

※イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン



シスメックス フランス

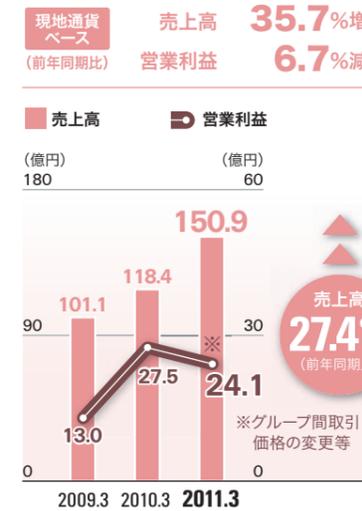


中国

- 医療需要の拡大に伴い、ヘマトロジー・尿・血液凝固の分野において継続して売上が増加しました。
- グループ間取引価格およびロイヤリティの計上方法の変更などが影響し、営業利益は減少しました。



多項目自動血球分析装置 XS-1000i

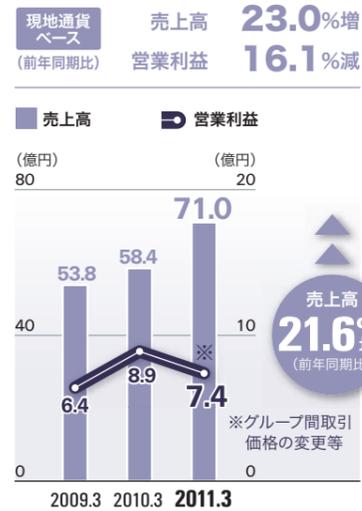


アジア・パシフィック

- インドやインドネシアでは機器のアップグレード化が進捗し、ヘマトロジー分野の売上が増加しました。
- グループ間取引価格の変更や、販売・サービス体制の整備に伴う販売費及び一般管理費の増加などにより、営業利益は減少しました。



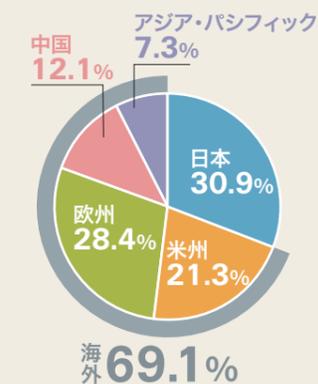
シスメックス インディア (インド)



(注) 日本から韓国・台湾への直接販売は、日本の外部売上高に含む。

【地域別セグメント】

●売上高構成比



●売上高の増減要因

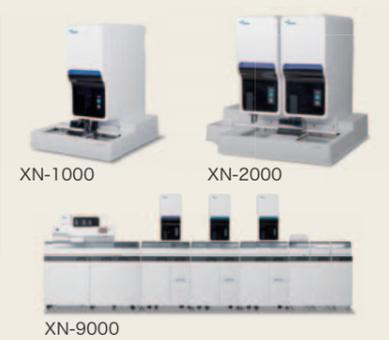


Close UP! 医療現場に新たな価値をお届けする新製品 「XNシリーズ」をグローバルに発売!

当社は主力のヘマトロジー分野における新製品「XNシリーズ」を発売しました。お客様により良い検査環境を提供するため、「XNシリーズ」では新たなコンセプトを導入し、測定項目の追加や血小板減少症などの疾患に有用な低値血小板数の測定精度を大幅に向上させました。また、個々の製品を自由自在に組み合わせることで多彩なラインアップ

を実現し、お客様のさまざまなご要望にお応えする提案が可能となりました。シスメックスは現在、ヘマトロジー分野においてグローバルNo.1のシェアを占めています。今後も当社ならではの強みを活かし、新たな価値を提供していくことで、ヘマトロジー分野における当社の地位をより強固なものにしてまいります。

多項目自動血球分析装置 XNシリーズ ラインアップ



*ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを測定することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

**統合医療ネットワーク(IHN): 米国の総合医療事業体。複数の病院により形成され、広域の医療圏で地域住民に必要な医療の提供を目的とした組織。



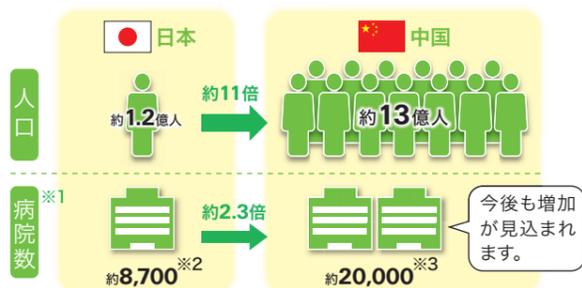
急成長する中国

シスメックスの成長を牽引している海外地域をご紹介します「グローバル最前線」。第1回目は、成長市場として注目を集めている中国を取り上げます。中国におけるシスメックスの売上高は、2011年3月期には約150億円と高成長を続けており、2014年3月期には二倍以上の売上高を目標としています。今後も引き続き成長を実現していくためのシスメックスの取り組みとは——？現地の最新情報をご紹介します。

中国におけるシスメックスの売上高



日本と中国の市場比較



ポイント1 上位市場を対象としたシステム製品でシェアNo.1※を獲得

中国市場において、シスメックスが特に優位性を確立しているのは、病院施設の規模が大きく、高性能な製品が必要とされる上位市場です。患者数の増加に伴い、多くの検体を自動的に検査できるシステム製品へのニーズは高まっており、より高性能な機種への切り替えが進んでいます。



中国の病院でも、より高性能な製品へのニーズが高まっているんですね。

中国最大規模の展示会でもシスメックスのシステム製品をアピールしました。



※当社調べ

人口に対して病院数が少ない中国では今後も市場は拡大する見込みです。

約13億人もの人口を抱えながら、中国の病院の数は約2万(左上図)となっており、日本に比べて人口に対する病院の数はいまだ少ない状況と言えます。今後も病院数の増加が見込まれる中国では、検査の市場も拡大することが予想されます。

さらに、中国では経済発展に伴い、医療に対する関心や需要が高まっており、政府主導で医療制度改革が進められています。2009年の全国人民代表大会では2009年から2011年の3年間で、8,500億元(約10兆円※)の巨額の予算が医療政策に充てられると発表されました。今後は都市部に比べ、医療インフラが整っていない農村部を中心に整備が進むものと考えられます。

※1元=12円で計算

※ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを測定することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

2012年5月の完成予定時には、延床面積は現在の約1.6倍、生産量は約5倍に対応できるようになります。



済南(さいなん)の試薬工場拡張後の完成イメージ

ポイント2 広大な中国において他社に先駆け強固な事業基盤を構築

シスメックスは現在、中国の15都市に拠点を保有しており、約120社の販売代理店と連携しながら、広大な中国全土をカバーする事業基盤を構築しています。また、今後の需要拡大に備えて試薬工場の拡張工事を行うなど、さらなる成長に向けた体制の整備に努めています。



「メイド・イン・ジャパン」の高品質な機器や、きめ細やかなサービス&サポートが中国市場でも高く評価されています。

地域に関係なく、質の高い検査を提供したいという思いが実現されたのですね。



現地従業員の声
学術担当
リン リー
凌 励

ポイント3 世界最高峰※のチベットの病院に当社製品を導入

平均標高4,000m以上の高地にあるチベットは、その標高ゆえに技術的なハードルが高く、試薬やサービスの安定供給が難しい地域でした。このチベットにおいて、当社は唯一、血球分析装置の上位機種を導入することに成功し、現在も安定的に試薬やサービスをお届けしています。



製品の引渡し式典にて。チベット病院の院長先生と、シスメックス上海 董事長 樋口裕(ひぐち ゆたか)

販売やサービス&サポート活動において独自の強みを発揮しています。

このように医療への需要が急速に高まりつつある中国ですが、シスメックスは市場の成長性にいち早く着目し、約20年も前からビジネスを展開してきました。1995年には済南(さいなん)に試薬工場、1996年には上海に駐在員事務所を開設するなど、他社に先駆けて中国に進出してきた

結果、強固な事業基盤を構築し、現在の成長に結びついています。

また、検査のさらなる普及に向けた活動も行っています。中国では地域によって、検査の必要性や重要性の認識に大きな差があります。そこでシスメックスは、中国全土で医療関係者への学術啓発活動を推進し、大小含めると年に約200回ものセミナーやワークショップを開催しています。2010年10月に中国の寧波で開催した学術セミナーには、過去最多となる800名以上の医療関係者の方々に参加いただきました。

売上の拡大を図るだけでなく、医療の発展に貢献する企業として、今後も成長を続けていきたいと思ひます。

中国市場の成長性について私が解説します！



シスメックス上海 総経理
バン ソウ ホウイ
彭 作輝

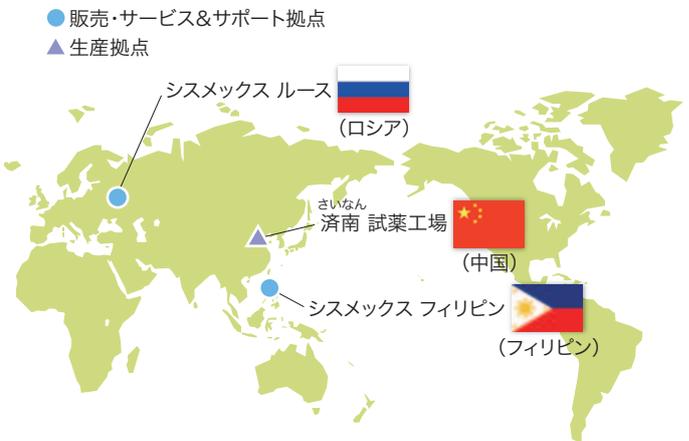
中国では、主力のヘマトロジー分野*だけでなく、検体検査市場全体における総合サプライヤーを目指しています。

成長が期待される新興エリアで事業拠点を拡充

さらなる成長の加速に向け、シスメックスは新興エリアでの拠点整備を進めています。

市場の成長が期待できるロシアや、医療体制の整備が進むと予測されるフィリピンにおいて、販売・サービス体制の強化を図りました。これにより、当社はBRICs* 4カ国、ASEAN主要6カ国*の全てに現地法人を設置したことになります。

また、急成長を続ける中国では、市場の需要増に対応するため、^{さいなん}済南の試薬工場の拡張工事を進めています。新工場の稼働時には、現在の約5倍の生産量に対応できる体制が整う予定です（詳しくは8ページをご覧ください）。



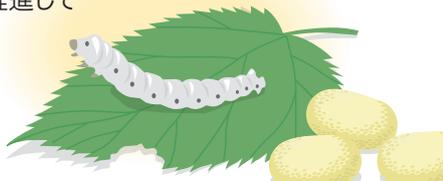
*BRICs(ブリックス): 経済成長が著しいブラジル、ロシア、インド、中国。

*ASEAN主要6カ国: インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム。

片倉工業株式会社より 生物科学研究所[※]を譲受

※松本分室を除く。

片倉工業株式会社の生物科学研究所では、試薬の原料となるタンパク質を、カイコを用いた遺伝子組換え技術で生産しています。この技術と、当社の技術を組み合わせることで、ノンヘマトロジー分野やライフサイエンス領域における診断薬開発・生産技術力の強化を推進していきます。



株式分割を実施

2011年4月1日を効力発生日として、2011年3月31日最終の株主名簿に記載または記録された株主様の所有普通株式を、1株につき2株の割合で分割しました。投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株式の流動性向上を図り、投資しやすい環境を整えることを目的としています。

■ご購入シミュレーション（手数料などを除く）

当社参考株価	ご購入株式数	ご購入予算	予想配当金(年間)
2,887円 (2011/6/1時点)	100株(1単位)	28万8,700円	3,000円

個人投資家様向け説明会を開催

個人投資家の皆様を対象に、東京(12月)と神戸(3月)でそれぞれ上場企業が3社集まり、合同企業説明会を開催しました。シスメックスの事業領域になじみの薄い方にもわかりやすいよう、3つのポイントに絞って説明を行いました。

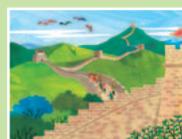
シスメックスの3つの特長

- ▶ 1. 景気の影響を受けにくく安定して成長する会社
- ▶ 2. 中国を中心に好調な海外が業績を牽引
- ▶ 3. がんの分野などで新しい検査を創造

当日のプレゼンテーション資料をIRウェブサイト内の「IR資料室」に掲載しています。ぜひご覧ください!

東日本大震災被災地への支援について

このたびの東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。当社は、被災者の救済および被災地の復興に役立てていただくため、義援金などの支援を行いました。地域の状況を踏まえつつ、今後も継続して支援活動を実施してまいりたいと思います。



万里の長城(中国)

表紙について...

急速に成長を遂げる一方で、地域によってはまだまだ医療格差が大きい中国。より多くの人々が安心して検査を受けられる環境を目指して、シスメックスは医療の発展に貢献していきます。

会社概要

(2011年3月31日現在)

- 商号 シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
- 設立年月日 1968年2月20日
- 資本金 90億4,169万円
- 格付け A (R&I: 格付投資情報センター)
- 従業員数 4,248名(連結) 1,656名(単独)
- 主な事業内容 臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

■役員 (2011年6月24日現在)

代表取締役社長	いえ つぐ ひさし 家次恒
取締役 専務執行役員	ゆき もと けん いち 雪本賢一
取締役 常務執行役員	はやし まさ よし 林正好
取締役 常務執行役員	おおひがし しげ のり 大東重則
	なかじま ゆき お 中島幸男
	たむら こう じ 田村幸嗣
取締役 執行役員	おべ かず や 尾辺和也
	わたなべ みつる 渡辺充
執行役員	いしだ みち あき 石田道明
	こうだ たかし 合田隆
	はまぐち ゆき お 浜口行雄
	あさの かおる 浅野薫
	やまもと じゅん そう 山本純三
	たちばな けん じ 立花健治
	まつい いわ ね 松井石根
常勤監査役	こばやし はる よし 小林晴美
	みやうち ゆき 幸 宮内利幸
監査役	ふじおか ひるむ 藤岡弘
	いなま ます 勇 稲益まさ勇

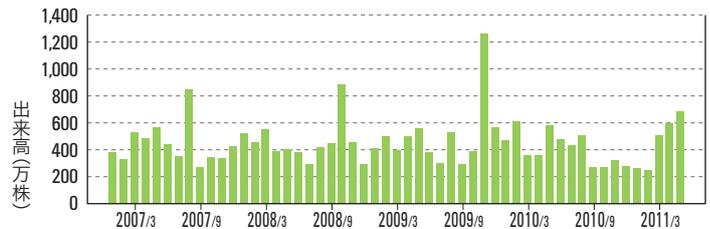
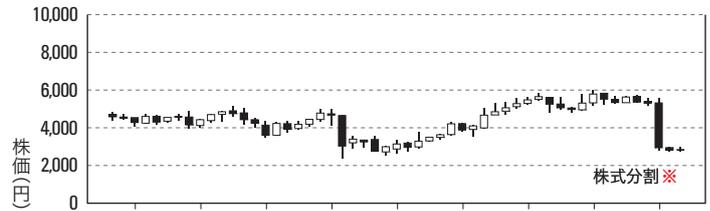
株式の状況

(2011年3月31日現在)

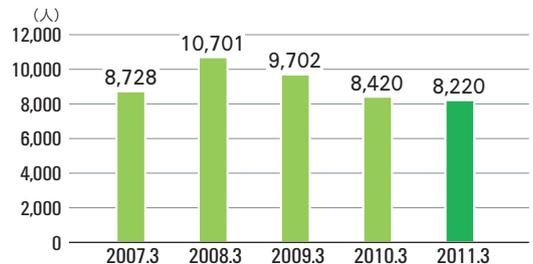
- 会社の発行可能株式総数 149,672,000株
- 発行済株式総数 51,461,808株

■株価・出来高の推移 (2011年5月31日現在)

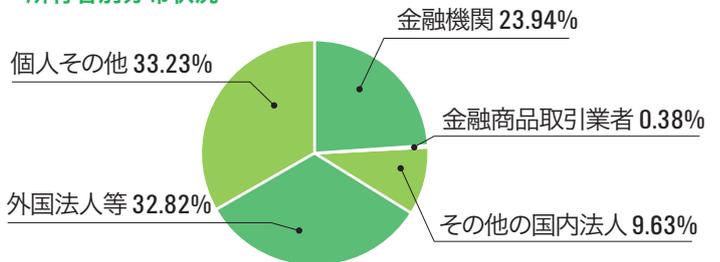
※2011年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。



■株主数の推移 (人)



■所有者別分布状況



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日
 - 定時株主総会 3月31日
 - 期末配当金 3月31日
 - 中間配当金 9月30日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■公告方法

当会社の公告方法は、電子公告とします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告掲載ホームページアドレス www.sysmex.co.jp/ir/

- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部
大阪証券取引所市場第1部

- 証券コード 6869
- 単元株式数 100株

■株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関

〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

■同連絡先 (郵便物送付先・電話照会先)

〒541-0044 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

お知らせ

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



～「感謝と友情」をテーマに～ 「神戸マラソン」特別協賛のお知らせ

2011年11月20日(日)に開催される「第1回神戸マラソン」にシスメックスは特別協賛します。近年、東京や大阪などの大都市だけでなく、全国各地で市民マラソンを開催する都市が増加しており、神戸でも初の市民マラソンが開催されることになりました。神戸は16年前の阪神・淡路大震災で甚大な被害を受けましたが、たくさんの皆様からご支援をいただき、復興を遂げました。

今回の神戸マラソンは、「感謝と友情」をテーマに、神戸の復興を象徴するイベントとして開催されます。

人々の健康とスポーツに深く関わる企業として、また、地元神戸とともに育ち、震災から復興を遂げた企業として、当社もこの大会を通じ、復興をご支援いただいた皆様への感謝の気持ちを表現するとともに、東日本大震災で被災された方々へエールを送りたいと思います。



名称：第1回神戸マラソン	開催種目：マラソン、クォーターマラソン	参加料の一部が東日本大震災復興支援のため、義援金として寄付されます。
開催日：2011年11月20日(日)	主催：兵庫県／神戸市／兵庫県教育委員会／神戸市教育委員会／兵庫陸上競技協会	
大会規模：約20,000人		

「シスメックス神戸マラソンスペシャルサイト」を開設

参加されるランナーの皆様や応援される皆様、神戸やその近隣にお住まいの皆様と神戸マラソンを盛り上げ、ともに創り上げていくために、「シスメックス神戸マラソンスペシャルサイト」を立ち上げました。神戸マラソンについての詳細はもちろん、IR・広報部のスタッフが綴るブログなど、楽しい内容が盛りだくさん。ぜひご覧ください。

<http://kobe-marathon.sysmex.co.jp/>



シスメックス神戸マラソンスペシャルサイト